

2003年10月7日

韓国でギガビットスイッチ「GS4000」およびギガビットルータ「GR4000」の販売を開始

LG 日立を通じ、韓国の通信事業者や公共機関・企業向けに販売

日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:古川 一夫、以下 日立)は、このたび、次世代ネットワークであるIPv6に対応した最大640Gbit/sのスイッチング性能と、1ギガビットおよび10ギガビットイーサネットのポート収容密度が業界最高クラスのギガビットスイッチ「GS4000 シリーズ」とギガビットルータ「GR4000 シリーズ」を、本日から韓国で販売を開始します。韓国での販売は、日立と韓国の株式会社LG(代表理事:姜 ユウ植 (カン・ユウシク)との合併会社であるLG日立株式会社(代表理事:李 基東 (イ・キドン)、以下 LG 日立)を通じて行います。LG 日立は、通信事業者をはじめ、公共機関や企業向けに、今後3年間で1,000台販売する計画です。

韓国のインターネット利用人口は2002年12月末時点で2627万人に達し、ブロードバンドの普及率は世界一であるネットワーク先進国です。また、公共機関や企業なども、メトロイーサネットや広域イーサネットなどを活用して、専用線を使用するよりも安価に企業内ネットワークを構築してきており、ネットワーク上を流れるトラフィックは増大しています。それに伴い、ネットワークが社会基盤化しているため、ミッションクリティカル(*1)性がより求められるようになっており、高い信頼性やQoS(*2)技術などが必要となっています。

*1) ミッションクリティカル: mission(使命)critical(危急)の意味から「ダウンすると重大な危機に陥る極めて重要な役割を担う」という意味。

*2) QoS: Quality of Service ある特定の通信のために帯域を保証する技術。

日立は、本年6月から国内において「GS4000」と「GR4000」の販売を開始し、Networld+Interop 2003 TOKYOのプロダクトアワード部門 Best Of Show Award でグランプリおよび特別賞を受賞するなど高い評価を得ています。本製品は、ミッションクリティカル性への対応に重点をおいて開発しており、韓国市場のニーズにも十分こたえることが可能です。

なお、日立は、LG 日立に対し製品供給だけでなく、ネットワークシステム構築時のコンサルティングノウハウの提供やネットワークシステム運用の技術的なサポートを行います。日立は、LG 日立と協力し、韓国市場でのネットワーク機器販売事業を積極的に拡大していきます。

■ 製品情報のホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/network/>

■ 他社商品名称に関する表示

- ・イーサネットは富士ゼロックス(株)の商品名称です。
- ・その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ LG 日立について (URL: <http://www.lghitachi.co.kr/>)

1986 年に設立。

(出資比率:2003 年 4 月 1 日現在、株式会社LGが 49%、日立が 51%)

韓国国内における日立製品(ストレージ、ネットワーク機器、ミドルウェア他)のシステム販売およびソリューション、サービス事業を展開。2002 年度売上実績は約 84 億円。

■ 本件に関するお問合せ先

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ

IP ネットワーク事業部 販売マーケティング本部【担当:高橋、一戸】

〒259 - 1392 神奈川県秦野市堀山下1番地

電話:0463 - 88 - 8076 (ダイヤルイン)

以上

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
